

# 神田外語大学大学院 日本語学専攻

## 日本語学コース・日本語教育学コース

### 入試説明会・公開講座

12月4日（土曜日）

Zoom入試説明会 13:30～

Zoom公開講座 15:00～16:30

詳しくは以下をご覧ください

☐神田外語大学大学院 入試説明会

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/opencampus/extension/>

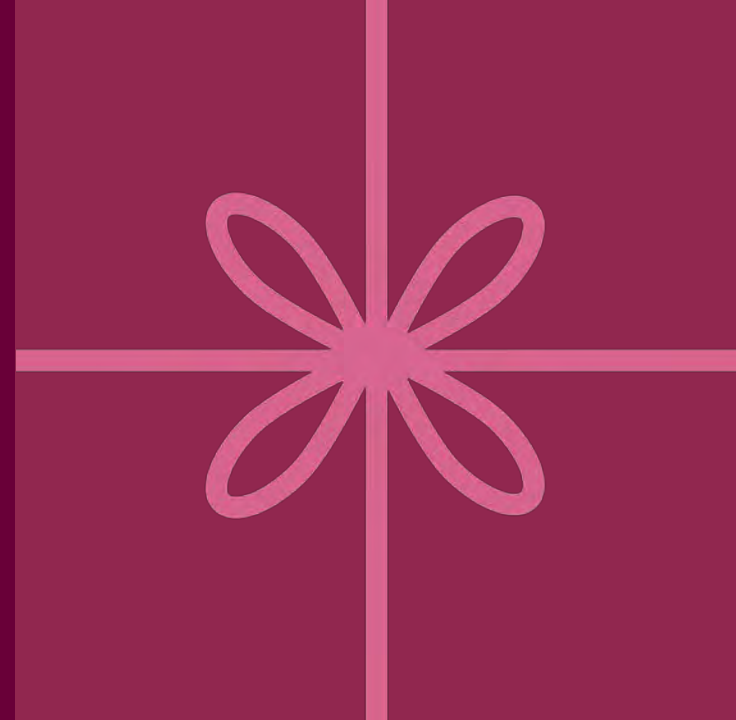
☐神田外語大学大学院 入試説明会・公開講座事前申し込みURL

<https://forms.gle/1KfSRSNk79L1Qj7V9>

申し込み期限：11月30日（火）

本説明会・公開講座ではWebミーティングアプリ「Zoom」を使用します。お申し込み期限後に

ご登録のメールアドレス宛に詳細及びミーティングへのご招待をお送りします。



# 『 タスク中心の教授法

## — 研究と実践のつながり —

』

- 講師：堀場裕紀江（神田外語大学大学院・言語科学研究科・教授）  
Ph.D.（University of Minnesota） 専門は第二言語文化教育学。
- 研究領域は第二言語としての日本語・英語を対象とした読解、語彙習得、学習タスクと言語運用、読み書きと学習。
- 主にReading in Foreign Language, Modern Language Journal, L2日本語習得研究、等の主要学術雑誌の他、Handbook of Japanese Psycholinguistics (Cambridge Univ. Press 2006), Task-based language teaching in foreign language contexts (John Benjamins 2012), 英文読解のプロセスと指導（大修館書店2002）等に論文を発表している。

# 概要：

近年、コミュニケーション能力を育てる言語教育の重要性が広く認識され「タスク中心の教授法（Task-based instruction）」と呼ばれる外国語・第二言語教授法・学習指導法が注目されています。しかし、教育実践者の間では、タスクとは何か（例：ドリルやアクティビティとどう違うか）、何を教えるか（例：言語知識か言語運用か。形式重視か意味重視か。内容・トピックはどうか）、教師と学習者の役割はどうか

（例：教師主導か学習者中心か）、評価についてはどうか（例：何をどのように）等、様々な疑問があるようです。今回の公開講座では、これまでの「タスクと第二言語習得」の理論研究・実証研究からどういう知見が得られるのか、どういう教育的示唆が導き出されるのかについて検討します。